

東村山市市民テニスクラブ協議会機関紙

コート取り当番担当クラブ

発行責任者 柳 利夫

5月 6月分 コート 青葉B

住所 東村山市菟山町5-6  
-26 301号

6月 7月分 コート 美住D

編集責任者 黒岩 俊雄  
☎0423 (95) 4336

7月 8月分 コート 美住A

## 第2回運営委員会報告

東村山市スポーツセンター2F小会議室 AM10:20~12:30

### I. 報告事項

#### ① 硬式庭球連盟だより

- イ. 新役員選出
- ロ. 規約を決定・正式名称『東村山市テニス連盟』
- ハ. 春の市民大会参加資格・在住, 在勤, 在校, 連盟加盟クラブ所属者
- ニ. 秋の市民大会参加資格・在住, 在勤, 在校
- ホ. 連盟の運営資金の不足を補うため、連盟加盟費を現在の約倍にするか、春、秋の大会参加費の内連盟加盟クラブ所属者の参加費を一般参加者と同額としたいので5月末迄に検討して下さい。
- ヘ. 連盟役員の決定方法について会長推薦制度を作った。

#### ② 技術部報告

- イ. 民間コート使用計画について  
「JSSコート使用計画 → 4/29コート工事中のため → 5/12先約あり ← いずれも取り止めた」
- ロ. 前半の練習について“反省会”を3/31(日)に開催致しました。〔詳細は別途報告する予定〕

#### ③ 広報部報告

- イ. 第1回広報部会の開催 → 平成3年の計画全体と『ガット』作成要領について意見交換
- ロ. 年間の作成スケジュールの確認

#### ④ 財政部報告

- イ. 各クラブ運営費及び補助金を、各クラブ会長口座に振り込みました。

#### ⑤ 事務局報告

- イ. 『会員数均等化委員会』の初会合を4/7(日)に行った。スポセン2Fクラブ室・4:30~6:30  
山本会長と今井副会長を互選し、検討期間・提案期日並びに日程を決めて取り組むことになりました。
- ロ. 「平成3年度会員名簿」を各クラブ会長より会員の皆様にお届けさせていただきましたが、まだお手元に届いていない場合は、各クラブ会長に連絡されたし。

#### ⑥ 各クラブ会長報告等

- 美住クラブ 団体戦に各クラブから参加出来る上限枠を広げて欲しい。

- 青葉クラブ 3/24狭山団地TCと交流試合をした  
対戦成績 → 12勝9敗

### II. 検討事項

- ① 技術部関係について
  - イ. 東村山市テニス連盟の加盟費値上げについては、各クラブにて検討し、次回の委員会で討議する。
  - ロ. 連盟役員の選出のうち、会長推薦者名については12月末迄に各クラブ会長に伝えること。
  - ハ. 恩多クラブの連盟理事は、4/19迄に決め連盟に伝える。

- ② イベントのアイデア
  - A. クラス別大会・・・初級 中級 ジュニア
  - B. テニスゲーム・・・ターゲットテニス
  - C. クラス別大会・・・簡単なレイティングを実施
  - D. 抽選試合・・・抽選にてラダムにペアを作り試合を行う。
  - E. レイティングのみ実施
  - F. クラス別一球勝ち抜き団体戦
  - G. ハンデ戦・・・(30-0)から始める等。
  - H. 年齢別・性別団体戦・・・(30代, 40代, 50代ミックス)

1. タイブレークマッチ・・・(タイブレーク のみの試合)

J. ソフトボール大会+バーベキュー

#### ③ スクールの状況

- イ. 指導計画と実績・12回予定 → 10回(前半)  
12回予定 → 11回(後半)
- ロ. 出席状況・・・前半, 後半での初心・初級の全体平均は、57% であった。

#### ④ 中期レッスン計画

- イ. 6/9より実施する。(8/24は無し)11~12回  
初心者クラス・グランドストローク/サービス/ボレー/スマッシュ+ロブ
- ロ. 初級者クラス・より実践的な練習ダブルス フォーメーション等

- ⑤ その他  
4/28セットボール販売



### 第28回東村山春季体育大会 [硬式庭球] 中間報告

#### 女子ダブルス(A)

- 優勝 古永、武田(市民テ)
- 準優勝 江原、増本(市民テ)
- 第三位 小山、三原(市民テ)
- 第三位 深田、渡辺(一般)

#### 女子ダブルス(B)

- 優勝 吉田、稲橋(JSS)
- 準優勝 野々垣、小暮(一般)
- 第三位 安藤、吉田(一般)
- 第三位 江崎、三浦(木星会)

#### 壮年ダブルス

- 優勝 松井、山本(市民テ)
- 準優勝 渡辺、高瀬(一般)
- 第三位 田中、藤岡(市民テ)
- 第三位 菅井、大久保(一般)

#### 男子ダブルス(A)

- 優勝 中村、宝徳(日機装)
- 準優勝 北村、堀内(JSS)
- 第三位 今井、木村(市民テ)
- 第三位 高田、飯川(一般)

今月のラケットショップ「フジ」による  
用具指導は、お休み致します。  
所沢の店舗の方にお出かけ下さい



私 と テ ニ ス

恩多クラブ 千田 茂夫

私は浜っ子である。浜といってもベイブリッジのある浜より少し南に下った辺りだ。磯の香りに包まれながら、ごく普通の人生を歩んだが、釣りは、子供のときから大好きな趣味の一つであった。しかし、糸のデリケートな引きの感触を、指のさきに受ける喜びの裏には、殺生をしている自分の後ろめたさが常に隠れていることを、否定はできない。

一番手が釣りならば、二番手はロックである。裏庭の鷹取山には格好のフェイスが並びたち、現在でも愛好家のよき練習所となっているが、私は学生時代にこれを物にした。己の技術が、己の一挙手一投足が、即自分の命を直接支えていることを、これほど直裁に示すスポーツはまず少ないと思う。

釣りと山歩きで基礎体力を培った私が社会人となったある日、会社の先輩から一本のラケットをもらった！今からほぼ22年も前のことである。カワサキの、レギュラーのウッドだ。薄黄色で、茶の模様取りがモダン、そしてバランスもグー。ヒヤー、こんな高価な物を買ったんじゃないア丁テニスをものにしてみるか、と、ラケットと抱き合わせで会社のテニス部スクールに入ったのが 病み付きの始まりであった。勿論プレー後のビールの旨さは諸君ご存じのとおり、白球が狙い目に飛んでくれるようになったときの嬉しかったこと！ 命の危険をかけた緊張の連続で、ゲレンデを制覇する喜びは勿論格別であるが、その心配をせずに行われる楽しさはまた別の味わいがあるものだと思う。

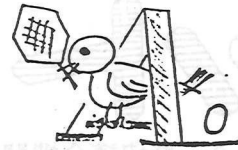
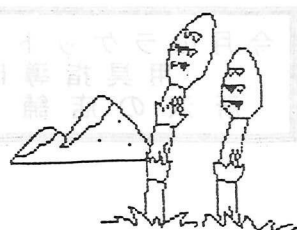
江戸時代の初期に、明の心越禅師が推奨した 関東の、いわゆる名水八景の一つである称明寺や、ご存じ太平記由緒の金沢文庫が玄関脇に控えていて、思えば、我 人生前半の環境は結構、詩情豊かであった様だ。

さて、サラリーマンにおきまりの転勤でまずは小平に住み着き、市の大会 第二部で決勝戦に出ることができ、そして10年前、ここ村山の住民となったが、なんと、入部1年先輩の わが三浦氏がいるではないか。即市民テにいられていただき、彼と組んでクラスAの大会に、、、ベスト8に残り得た。これらの事はラケットをくれた彼の先輩への、一番良いお礼になったと思っている。

何と言っても、テニスを楽しみながら 会社以外の沢山の方々と親しく交流できる嬉しさは、人生の生き甲斐を十二分に満喫させてもらえることだと言えないだろうか。

サア、次の目標は Mix Ws だ！。

以上。

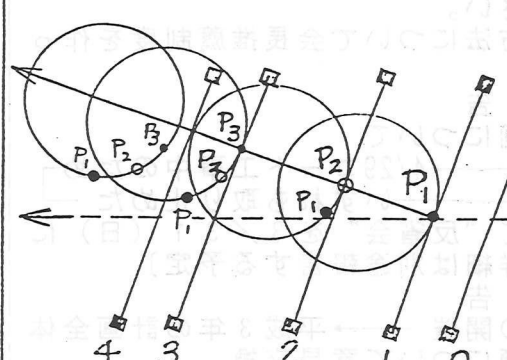
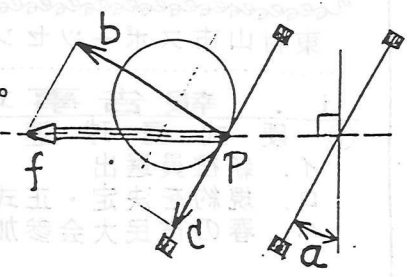


私の テニス (3) 恩多クラブ

頑張爺

3-3) ボールが回転する仕組み  
物理学では、物と物との間に力のやり取りが起きているとき、その方向と大きさをイメージした、直線の矢印で書き表して検討しますので、前回 3-2) で書いたボールの飛び方について、もう一度考えて見ましょう。(下図参照)

ラケットが点線上を角度aだけ傾いて進み、ボールの点Pを矢印fの力で叩いたとします。この時、力fの一部が、点Pからラケット面の法線方向(丁度、ボールの重心を通る事になります)に大きさbの分だけ加えられて、ボールが飛び出すと同時に、fからbを引いた残りcの分が、ボールを回転させる力として使われることになると、bとcをそれぞれfの分力または成分と呼んでいます。この理屈は左図の様に考えて見ると良く分かると思います。

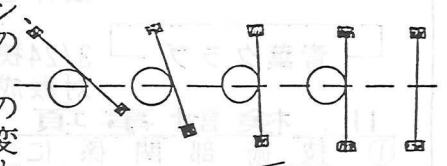


ラケットが点線上を0、1、2、、、と進み、1でボールの点P1を叩くと、ボールは実線にそって動き始め、2では点P2を、3では点P3を押しながら進み、3を過ぎた所でラケットから飛び出して行くとします、ラケットが1から3迄進む間に、ボールは点P1からP3迄回されながら押し出されて行く事になるわけです。

この1から3迄の時間は、ガットの張りの強さにはあまり関係がなく、約0.005秒であると考えられており、従って私達の(技術部の方々とは別と致しまして)フツのラリーでは、約10cm位の間しかボールとラケットが触れ合っていない事になります。

(体を中心にしてラケットをほぼ円形にフルスイングするのに0.2秒位が普通のはやさなので、スイングの始めと終わりの区間を除いた90度の間を0.1秒で振ると仮定すれば、ラケットが動く距離は約160cm。従って0.005秒では8cmとなる)。

そして角度aの向きによって、スライス(この絵で下が地面と考えた時)、トップスピンおよびサイドスピン、と回転の向きが変わってくる訳です。



所で、これとは別に右図のようなラケット面の角度を変えての回転のかけ方がありますが、特殊の技法として区別されているのは、このボールの触れている時間が短い事と、どんなグリップを使うかによると考えています。

---以下次回。

編集後記

春の市民テニス大会は、雨のスタートになってしまい、結果をすべてお知らせできなくて残念です。

いよいよ新緑の季節。

ゴールデンウィークに向けて、テニスプラン優先というところでしょうか。団体戦(太田杯)も目前となりました。市民テの皆さん・・・がんばりましょう！！

M・N